

広島県大学図書館協議会令和5年度第2回研修会 情報リテラシー教育のつくりかたアンケートまとめ

令和5年12月12日（火） 13:30～16:00
オンライン

アンケート回答20名

1. 3件の事例発表（安田女子大学・福山市立大学・県立広島大学）について

各大学の発表から、少しずつ当館でもできることを探しながらお聞きしました。特に安田女子大学の、多数の学部別のガイダンスの展開ができないというお悩みには共感するところが多く、バリエーションを増やすことが大切と感じました。

安田女子大学の森氏の情報リテラシーの印象付けについて図書館の役割が重要だと再認識できた。また県立広島大学の山守氏のガイダンスカリキュラムの具体的に内容について知ることができたのでよかった。

各館の取り組みを教えていただき、大変勉強になりました。今後、当館でも検討したい取り組みもあり、さっそく来年度のガイダンスに向けて検討していきたいと思います。

自館の新入生のガイダンスは、カリキュラムの1コマの中の40分間を与えてもらい、蔵書検索方法や図書館ツアーを実施しているので慌ただしくザックリとしたガイダンスですが、今回発表された図書館さんは、1コマまたは2コマの中でしっかり説明されておられるので、自館は工夫をして丁寧なガイダンスにしていこうと思いました。

また安田女子大学図書館さんのように、図書館を利用しようと思わせるようなマニュアルやテキスト、動画作成を企画されておられているので、自館も企画し取り組もうと思いました。

各大学のカリキュラムの本学との違いがあり、考えるところ、参考になるところが多々ありました。印象づけが大切との話題もあり、印象付けについていろいろな方法があるかと思いますが、印象づけについて他館の事例があれば、機会があれば伺いたいと思いました。

各大学の特色があり、楽しく聞かせていただきました。今後の参考にさせていただきます。

当事者の方のタイムリーな話が聞けてとても有益でした。

事例1 安田女子大学様 図書館利用教育の目標・方法・評価の観点から分析していただき大変参考となりました。「毎年こうだから」と妥協していた点もありますので、利用案内等の見直しをしたいと思います。

事例2 福山市立大学様 文献検索説明の際に、実習問題を作成されている点、またその問題を学生主体で検索できるよう工夫されている点を本学でも取り入れていきたいと思いました。学生が自ら使えるように支援していきたいです。

事例3 県立広島大学様 講義プログラムの内容は基本的に実践となり、学生が主体的に利用になれることができるように組まれていることが参考となりました。

県立広島大学様と福山市立大学様の発表では、ガイダンスやオリエンテーションについての具体的な実施方法までを紹介していただけたので、自館での細かな点についても比較しながらお話を伺うことができました。ガイダンスの実施時期や検索実習の導入について、早速検討していきたいと思います。

リテラシー教育の初級はカリキュラムとして組み込まれているところが多く、まず図書館について知ってもらう素地はできているのですが、そこから中級・上級の教育につなげていくにはどうしたらいいだろうか、と考えさせられました。

それぞれの大学のできていること、できていないことを共感しながら聞いた。大学の規模などでできることに違いはあるが、参考にしたいと思った。

参考になるような話を聴くことができ、個人的に有意義な研修会だったと思います。

福山市立大学様が、ガイダンス後にアンケートを実施されていることを教えていただき「シンプルだけど、これは自図書館でもやった方がいいな」と強く感じました。ありがとうございました。

各大学の問題意識や取組について理解することができました。

ルッキズム手前の見た目、朗読のような口調による聴覚への訴え、朗らかさの空気感...がっかりさせないできる奴。そのようなことを利用者に言わせたい図書館のまめまめしさは館員みんなでつくっていくものと再認識させられました。どこにもそんな言葉もなかったですし逆説的ではありますが。

3大学のそれぞれの取組内容を知ることができて、今後の参考になりました。

他大学の事例を拝見することができ、大変参考になりました。

特に安田女子大学の森様の御発表の冒頭で、そもそも「情報リテラシー教育」とはなんぞや、というお話がとても勉強になりました。御自身の大学のデータに基づいての発表だったので、より理解度が高まりました。

各館の取り組みをご紹介いただき、大変参考になりました。

身近な大学の状況を聞くことができ参考になりました。今後の図書館案内等に活かしたいと思います。

2. 講演「東北大学附属図書館の情報リテラシー教育支援」 (東北大学 藤澤こず江氏) について

情報リテラシー教育の最前線で活躍されている方のお話が伺えて大変勉強になりました。大学規模的に同程度の支援を行うことは困難ですが、本学の状況に合わせて今後の目標にしたいと思います。

本館で実施するにはハードルが高い内容でしたが、参考にさせていただきます。

他部署との連携方法についても深掘りされており、項目ごとに事例を呈示してくださったのでとてもわかりやすかったです。

本学への展開方法や、人的リソースが足りない部分をどう補っていくか、考えながら聞かせていただきました。ありがとうございました。

東北大学というやはり酒井先生の著作などもあり、非常に活発に行われていると思いますが、それでも授業の履修者が少ない（いろいろな要因があるようですが）のはちょっと意外でした。

大規模な図書館での取組、人員構成も知ることができて良かったです。

多くの学部や学生がいる総合大学では、図書館のリテラシー教育を進めることの難しさが理解できました。

大学規模が大きい場合の図書館職員の役割や、情報リテラシー教育のカリキュラムを知ることができ、大変参考になりました。

大学の規模はかなり相違しますが、取り入れてみたいと思うような事例があったので、今後の参考にさせていただけるのではないかと思います。

大学の授業のなかに図書館講習を組み込むのは、実現すればかなり情報リテラシーの効果が高まると思った。また、ただ図書館やデータベースの使い方を説明するのではなく、受講者自身で課題を設定したうえで図書館を使わせる方法は参考にしたい。

図書館にとどまるのではなく、いかに学内協働の視点を持って支援を行っていくのかを検討する必要を感じました。

東北大学の先進的な取り組みについて、組織や教材、活動に至るまで具体的な事柄に触れつつご講演いただき、ぼんやりとはありますが、これから目指すべき情報リテラシー教育のイメージを持つことができました。また現状に満足されず、課題に向き合い、改善していかれようとされているご様子に、大きな励ましを頂きました。大変実りの多いご講演をいただき、大変有意義な研修となりました。ありがとうございました。

オーダーメイド講習会の実施を検討しており、申込書は大変参考となりました。内容を細かに分けており、どのような内容で、どう組み合わせるかを申込者にわかりやすくなっていて、今後本学でも作成してみたいと思いました。学生グループからももの申し込みも可能とのことでしたが、どのような募集方法が効果的であったのか知りたいです。

とてもよいお話で、もっと深くまで聞いてみたいという印象でした。

大学の規模が全く異なり、異次元の話として聞かせていただきました。「とにかく図書館に来て」という印象付けを、本学でも続けたいと思います。

図書館だけでなく、学科でのレポート作成教育や、学内施設での学習支援活動など大学全体を含めて情報リテラシー教育が完成するという連携のとれた方針や、教員構成による学習支援委員会など、図書館の使い方を教えるというより、大学が主体となって学修・研究をするための方法の一つに図書館があるという視点の違いを感じ、研究第一を掲げる東北大学の方針を反映したのを感じました。課題や研究で利用する事が主体の学生にとって、より学生目線に立った方針であると感じました。オーダーメイド講習会は本学でも参考にしたい取組です。

学部・研究科の教育内容の把握や情報リテラシー教育で担うべき役割の自覚が、欠けていることに気づかされました。来館する利用者のためだけではなく、全学年が今どんな講義を受け、何を図書館に求めているかを予測しながら、蔵書構築をしつつ必要とする資料提供をしようと思いました。

教員との連携など、大変学びの多い内容でした。オーダーメイド講習会について、より知りたい内容をお伝えできる方法なので、当館でも取り入れてみたいと思いました。質問でも声が出ていたかと思いますが、オーダーメイド講習申込書を参考までにいただきたいです。

東北大学の最新情報リテラシー教育について学内パートナーのお話は興味深かった。図書館のみの情報リテラシー教育には限界があるので、当館でも教員等のさらに協力を仰げるよう、活動していきたいと感じた。

学問分野共通の情報リテラシー教育という事例をお聞きし、図書館と教員との連携が素晴らしいと思いました。教員の方は「情報リテラシー教育」をすでに授業の中で展開している場合が多いので、図書館との関わりができれば、当館の現状も大きく変わるかもしれないと期待が持てました。

3. 今回の研修会の内容について

本学では教員から依頼があったとき、学生から質問があったときに資料検索等の説明を行う受け身的になっているため、図書館から発信するように改善が必要と感じました。

近隣の大学の様子を知ることができてよかったです。質疑応答も参考になりました。ありがとうございました。

質疑でも新生向けの内容の開催時期の話しがでていたように思いますが、なかなか難しいですね。カリキュラムや授業の内容/進行や課題の出され方によってベストなタイミングは違ってくるように思います。何か課題等が出されて「さあ、やらなきゃいけないけど、どうしたらいい？」となった時点がベストなのでしょうか。一度失敗して痛い目見て必要性を認識してからだと意欲が全然違ってくる気もしますが、あまりにも意地の悪い考え方ですね。

各大学で苦労されている点を知ることができて、本学だけではないということを確認できました。学生が利活用できるよう学生のために、授業の中の1コマ分やガイダンスとして時間確保し、労力も費やして取り組んでいるので、今後も学生のために改善できることは何か、またヒントになるきっかけを模索している中で参加をしましたので、有意義な研修会でした。

図書館ツアーそもそもしないとか、ものの所在と扱いだけを説明する。或いは演習形式で検索等行い慣れてもらう。など、できるだけシンプルに個性を押し止めた図書館への動機づけに見えない努力がなされていることに感じ入りました。

一度に多くの図書館のリテラシー教育の現状を知ることができました。ありがとうございました。

図書館を学生に最大限利用してもらえるような工夫は日々考えていかなければならない課題ではありますが、なかなか思うような成果が表れないところがありますので、このような他大学の事例を聴くことができる機会が今後もあればと考えます。

身近なテーマだったので、とても参考になりました。来年度に間に合いそうなため、時期的にもよかったです。

リテラシー教育の在り方は個々の大学に寄ってレベルや規模に差があると思いますが、他大学の事例を知ったり、共有できそうな高周波共有できるとよいと感じました。

本学で悩んでいることの解決の糸口が見つかりましたし、また同様な悩みを抱えていらっしゃる館がどのように工夫をしているのか知ることができ、参考となりました。また、職員全員が同レベルで講習会をこなせることが求められると感じました。

オンラインだと参加しやすいのでありがたいです。

対面でガイダンスを図書館員が直接受けてみるというのも面白いかもしれません。

初年次ガイダンスについて、他大学の取り組みや、内容を知ることができたのはとても参考になりました。図書館の機能を周知し理解を深める方法（ポスターや、福山市立大学のトリセツ、東北大学の初年次の後継ガイダンスである「中級...」や、オーダーメイド講習会など）を、工夫する事など多くのヒントを頂いたと感じています。有難うございました。

他大学の取り組みを知る事ができ、自館の参考になりました。忙しい中、発表にあたり資料作りなどの準備でご苦労されたことと思います。ありがとうございました。

「図書館利用教育ハンドブック 大学図書館版」を、研修内容の到達したい目標として掲げる研修の作り方に、根拠資料を掲げることの重要性を学びました。

4.今後の研修希望テーマについて

延滞者への対応について

学生選書について

利用者の行動分析。研修の形態にするのは難しいとは思いますが、コロナ禍を経て利用者の行動がやはり変わっているように思うので。

FigJAMやWhiteboardなどで、館員混成チームによるマインドマップ創り。構成員はジェネレーションギャップ、性差、エリア別等で、どこにベクトルが向かうのか有限次の参加者による模様が気になります。

アフターコロナの時代になり、あらためて大学図書館における電子書籍の活用方法について、他大学の広報や活用方法を知りたいと思います。電子書籍の未来について、今年の図書館総合展で講演されていた、関西学院大学図書館の井上昌彦様に是非お話を伺ってみたいです。

留学生の図書館の利用案内方法・データベースの種類など

「図書館利用に関する評価と基準」「電子書籍の利用促進」

SNSの運営について、イベント関連の募集方法と広報について

リテラシー教育（もっと専門的なところをどのように図書館員が身につけていくか等）

図書館の利用促進・貸出冊数・入館者数を増やす取組み・工夫をしている大学があれば聞いてみたいと思います。

学生協働について

5.その他

オンラインでの研修会は今後もぜひ続けていただきたいです。対面だと一部の職員しか参加できませんが、オンラインだと時間によっては全員が参加することもできるので大変ありがたいです。

今回の研修にあたり、大変お世話になりました。ありがとうございました。

どこかで形容詞、または動詞一言添えただけの素っ気ない今年の出会った図書、雑誌記事、論文、データベース紹介してほしい...かな。

この9月から図書館業務を担当することになりましたので、いろいろと勉強をしていかないといけないと実感している中で、研修会が開催されたので助かりました。

資料は早々に出来上がっていたものの、発表内容が準備不足で拙いものになってしまい申し訳ありませんでした。